

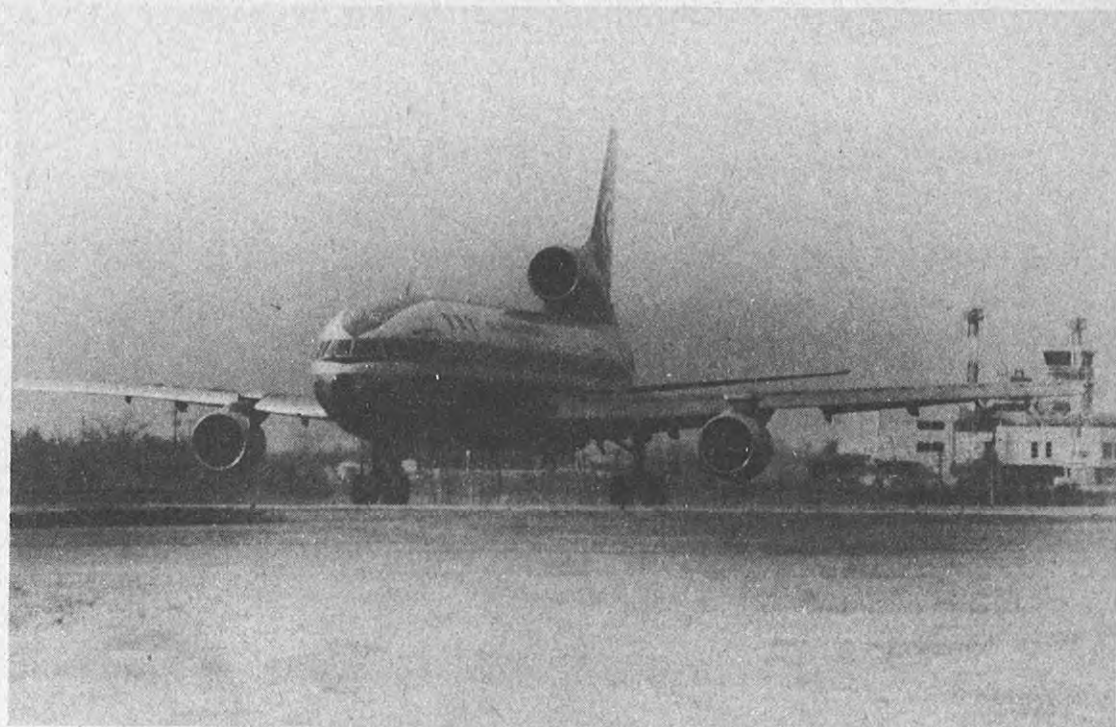
▲熱水の有効利用が期待される地熱開発（小国町峯の湯）

開発を効果的に進めるために県では
いろいろの調査、計画、事業を行って
おりますが、本年度は生活、生産を通ず
る諸活動の基盤となる国土の利用に関
する調査、物資流通統計調査、過疎地
域の振興を図るための各種事業等を
推進することにして行っています。

★県国土利用計画の策定……………
百九十六万円
国土の計画的利用を図るため、国は
国土の利用に関する全国計画を定め
ておりますが、本県でもこれを基本
として、県の区域について県国土
利用計画の策定を行います。

★土地利計画調査……………六千八十万円
地価の安定と土地の計画的な利用を
図るため、国土法の適切な運用を
すすめるため、土地利計画の見直し
を行います。
★水資源開発調査……………九百九十三万円
水資源の需要と供給とのバランスを
とるために必要な水資源開発計
画の調査等を実施します。内容は、
①熊本市及び周辺地域の地下水の
保全、利用状態及び代替水源の調
査、②天草を含めた有明海、八代
海沿岸市町村の水資源開発調査等
です。
☆物資流通統計調査……………
四百八十七万円
本県の製造業、商業、農業及び
鉱業の各部門における県内及び
県間の物資の流通状況について、
その実態を把握するための調査を
行います。
★過疎地域振興調整事業補助……………
一億円
過疎市町村が行う事業で、他の
事業又は施策と相互に調整する
ことにより、さらに過疎対策の
効果を高める事業に対し助成
します。
★テレビ難視聴対策……………
千五百四十一万円

過疎市町村において、テレビジョン
放送の受信が困難な地域の解消を
図るため、共同受信施設を設置する
際に助成します。
☆未点灯解消事業……………三百
万円
人里から離れた山村地域で、未
点灯のままの生活を営んでいる
方々が健康で文化的な生活を営
めるよう電気導入に必要な施設に
対し助成します。
★山村振興対策事業……………
二億五千九百九十一万円
山村指定地域の産業基盤と生活
環境の整備などを行い、山村農
林業家の所得の増大と福祉の向
上を図るために行う事業に対し
て補助します。本年度は、南小
国町、砥用町ほか十三町村で実
施します。
★特定地域振興資金……………二
億五千万円
過疎及びこれに準ずる市町村が、
生活環境施設などの整備事業を
行う場合、これらの市町村に資
金の貸し付けを行います。
★過疎地域工業導入促進……………
九百六十万円
過疎地域に進出する企業に対し、
雇用者数に応じ補助金を交付す
るほか過疎市町村が工場用地を
先行取得する際の借入金につ
いても利子補給を行います。



▲3000メートル滑走路への延長工事が着工される熊本空港

豊かで住みよい郷土を築いていく
ためには積極的な社会基盤の整備
充実を図る必要があります。特に
その中核となる基幹高速交通体系
の整備が緊急な課題です。
★熊本空港整備促進……………
二千八百七十七万円
国では、第三次空港整備五カ年
計画（五十一年から五十五年まで）
で熊本空港の滑走路を二千五百
メートルから三千メートルに延長
する計画であり、本年度から着
工される工事は円滑化と早期完成
の促進に努めます。
また、熊本空港の国際化と国内
定期航空路の充実をはかり本県
の文化、経済等の浮揚を図ります。
★九州縦貫自動車道建設促進……………
三百八十二万円
九州縦貫自動車道は、現在、古
賀―御船、溝辺―吉田及びえび
の―高原の各区间約百八十キ
ロメートルが供用されています。
御船以南八代までは現在工事中
であり、五十三年度末には供用
開始の予定です。
八代―人吉間については、昭和
五十二年中に路線発表ができる
よう、その促進を図ります。

★九州新幹線建設促進……………
三百七十四万円
九州新幹線鉄道の建設については、
政府内において現在新しい長期
計画のなかで各般の検討が進め
られており、この早期着工につ
いて積極的に取り組んでいきま
す。
★熊本港の建設促進……………
六億六千八十二万円
熊本港の建設につきまして、本
年度は政府予算の重要港湾整備
費で、熊本港分として九億五千
万円（直轄事業六億円、補助
事業三億五千万円）が見込ま
れ、工事が施行される予定です。
また前年度に引き続き必要な
関連調査事業等も併せて行おう
として行っています。
★天草下島横断有料道路の建設……………
十億六千九百九十九万円
この有料道路は、本渡市と天
草西海岸を最短距離で結び、
天草地域の開発を図るもので、
昨年四月から国道二六六号の
本渡市榑宇上の地点から主要
地方道本渡・下田線の天草町
福連木の区間三千九百メートル
の改築工事を続けています。
開通は、五十三年五月の予定
です。